さくいん

愛情点検	長年ご使用のポータブル DVD/CD プレーヤーの点検を！

こんな症状はありませんか
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ **このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DVD-LS91
販売店名	☎（　　）　―		

ーこのマークがある場合はー

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

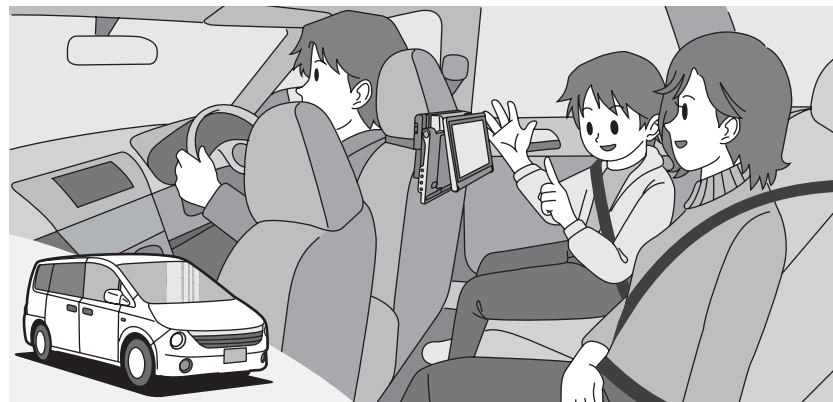
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒 571 ― 8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8244-S
F0106BL0

Panasonic®

取扱説明書

ポータブルDVD／CD プレーヤー
品 番 **DVD-LS91**

このたびは､ポータブルDVD／CDプレーヤーをお買い上げいただき､まことにありがとうございました。
■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（☞26 ～ 28 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
■保証書は､「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD ビデオのリージョン番号
発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。
本機の番号は「2」です。
「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示された DVD ビデオの再生が可能です。

（例）
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

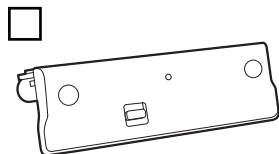
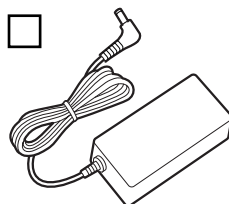
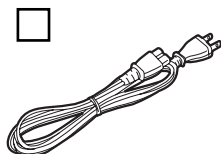
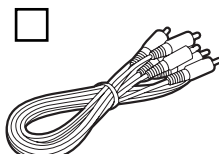
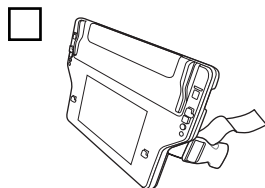
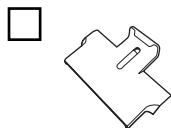
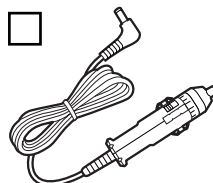
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

保証書別添付　上手に使って上手に節電

RQT8244-S

付属品

- 本書に記載の品番は、2006 年 1 月現在のものです。品番は変更されることがあります。
- 買い替えは、サービスルート扱いです。以下の品番で、お買い上げの販売店へご注文ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

バッテリーパック ★（VUADBLS50）

AC アダプター ★（RFEA213W-5W）

電源コード ★（K2CA2DA00009）

映像・音声コード ★（K2KA6CB00003）

ヘッドレストブラケット ★（RXQ1405）

モニターホルダー ★（RGQ0442-K）

カー DC アダプター ★（RFEC202M-M）

★印および本書内に記載している別売品は、松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp/

もくじ

再生できるディスク

市販ディスク

ディスク名称 ディスクロゴ	本文中での表示	特徴
DVD ビデオ	DVD-V	映画や音楽など、高画質の市販ソフト
ビデオ CD	VCD	映像、音楽や音声が記録された市販ソフト ● SVCD（IEC62107 規格準拠）を含む
CD	CD	音楽や音声が記録された市販ソフト

■ 再生できないディスク

- ・PAL 方式で記録したディスク
- ・DVD-RAM [2.6GB/5.2GB、TYPE1（カートリッジから取り出せないもの）]
- ・ファイナライズしていない DVD-R/DVD-RW/DVD-R DL/ +R/+RW/ + R DL
- ・ブルーレイディスク・DVD オーディオ
- ・DVD-ROM・バージョン 1.0 の DVD-RW・CD-ROM
- ・CD-G・SACD・DivX ビデオ
- ・Photo-CD・CDV・Chaoji VCD（超級と呼ばれる市販の SVCD、CVD、DVCD）など

記録されたディスク（○:再生可　×:再生不可）

ディスク名称 ディスクロゴ	再生できるファイル形式					ファイナライズ※4
	DVD レコーダーなどで記録されたディスク		パソコンなどで記録されたディスク			必要／不要
	DVD-VR ※2	DVD-V ※3	WMA	MP3	JPEG	
DVD-RAM	○	–	×	○	○	不要
DVD-R/RW	○	○	×	○	○	必要
DVD-R DL	○	○	×	×	×	必要
＋R/＋RW –	×	(○)	×	×	×	必要
＋R DL –	×	(○)	×	×	×	必要
CD-R/RW ※1 –	–	–	○	○	○	必要※5

●使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作り方により再生できない場合があります (☞ 右記)

※1 本機は、CD-DA およびビデオ CD フォーマットで記録された CD-R/RW を再生可能です。（WMA MP3 JPEG HighMAT ディスクも再生可能です。）

※2 DVD レコーダー、DVD ビデオカメラなど VR(ビデオレコーディング) 規格 Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録したディスク
DVD-R DL：DVD レコーダー、DVD ビデオカメラの VR(ビデオレコーディング) 規格 Ver.1.2（ビデオ録画のための統一規格）で記録したディスク

※3 DVD レコーダーまたは DVD ビデオカメラなど、DVD ビデオフォーマットで記録されたディスク
＋R/＋RW、＋R DL：DVDビデオフォーマットとは記録形式が異なるため、働かない機能があります。

※4 録音・録画したディスクを再生対応機で再生できるように処理すること。

※5 セッションクローズ (再生対応機で再生できるように処理すること) でも再生できるようになります。

パソコン等でファイルを作るときは

ファイル形式	ディスク	拡張子	備考
WMA	CD-R/RW	".WMA" ".wma"	● 対応ビットレート：48 kbps ～ 320 kbps ● 著作権保護されたファイルは再生できません。 ● マルチプルビットレートには対応していません。
MP3	DVD-RAM DVD-R/RW CD-R/RW	".MP3" ".mp3"	● 対応ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps ● ID3 タグには対応していません。 ● 再生可能なサンプリング周波数 DVD-RAM/DVD-R/RW : 11.02、12、22.05、24、44.1、48 kHz CD-R/RW : 8、11.02、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
JPEG	DVD-RAM DVD-R/RW CD-R/RW	".JPG", ".jpg", ".JPEG" ".jpeg"	● デジタルカメラで記録された JPEG データ [DCF (Design rule for Camera File system) 規格 Ver.1.0 準拠] を表示します。 ーパソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。 ● MOTION JPEG などの動画や JPEG 以外の静止画（TIFF など）および音声付画像は再生できません。

- 8 階層以降にあるグループは、メニュー画面の 8 階層目と同じ列に表示されます。
- 表示可能な漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外の漢字は "_"（アンダーバー）で表示されます。
- メニュー画面とパソコンの画面では表示順が異なることがあります。
- ディスクの作り方によっては、再生順が変わることがあります。
- パケットライト方式 (CD-R のデータ記録方式の一つで、データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式) で記録されたファイルは再生できません。

フォルダ名・ファイル名のつけかた

本機では、パソコン等で作成したフォルダ・ファイル名はそれぞれグループ名・コンテンツ名として表示されます。

DVD-RAM
- 使用できるフォーマット :UDF2.00

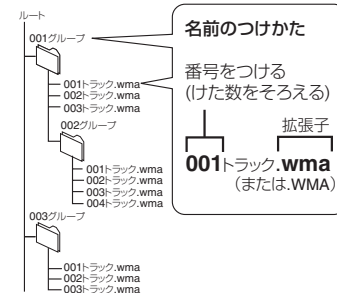
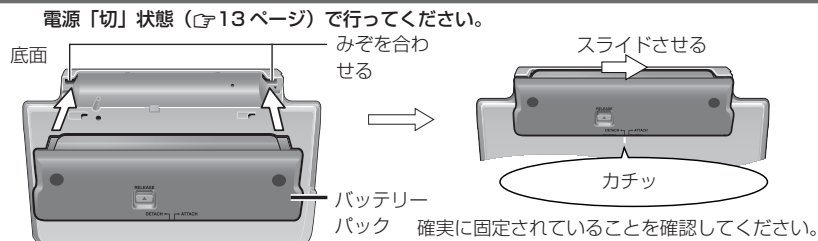
DVD-R/RW
- 使用できるフォーマット :UDF1.02/ISO9660
- マルチセッションには対応していません。
デフォルトセッションのみ対応しています。

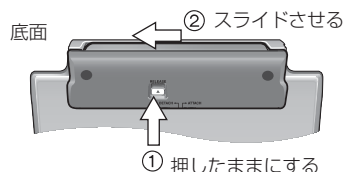
CD-R/RW
- 使用できるフォーマット :ISO9660 level 1 及び level 2（拡張フォーマットを除く）
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生開始まで時間がかかることがあります

準備

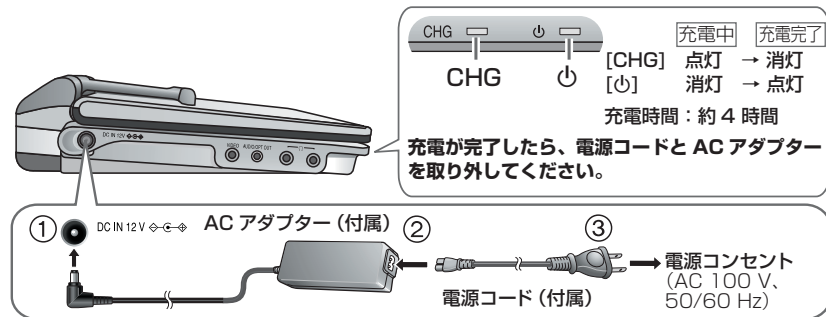
電源

❶ バッテリーパックの取り付け

電源「切」状態（☞13 ページ）で行ってください。

取り外し

- 取り外す前に本機の電源を切ってください。

長期間使用しないときは

- バッテリーパックを取り外してください。（☞ 左記）
（電源「切」状態でも微少電流が流れて過放電になり、故障するおそれがあります。）
- 再使用時は充電してからお使いください。

❷ 充電 （電源「切」状態で充電されます）

海外で使うには .....

付属の AC アダプターは、AC100 ～ 240 V、50/60 Hz の電源に使用できます。旅行先のコンセントに合わせた市販の変換プラグをご用意ください。

ご使用にならないときは、電源コードを変換プラグごと AC コンセントから外してください。

- **電源コードと AC アダプターだけ、またはカー DC アダプター（付属）だけでも使えます**（☞10 ページ）。
- 別売バッテリーパック（DY-DBLS55）を使用すると長時間楽しむことができます（☞7 ページ）。

節電のために

電源が切れた状態でも、約 0.3 W の電力を消費しています。
長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

充電時間と再生時間

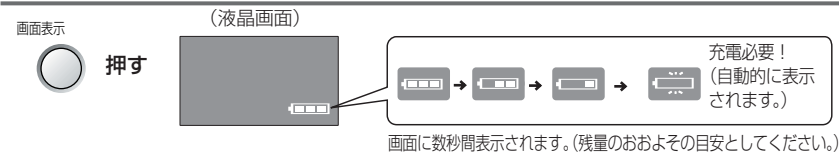
※カッコ内は別売バッテリーパック（DY-DBLS55）使用時です。

充電時間	再生時間（室温・ヘッドホン使用・FMトランスミッターOFF時）			
	液晶画面の明るさ（BRIGHT）レベル			液晶画面「切」
	−5	0	5（お買い上げ時）	
4（13）	3（12）	2（8）	1.5（6）	5（20）

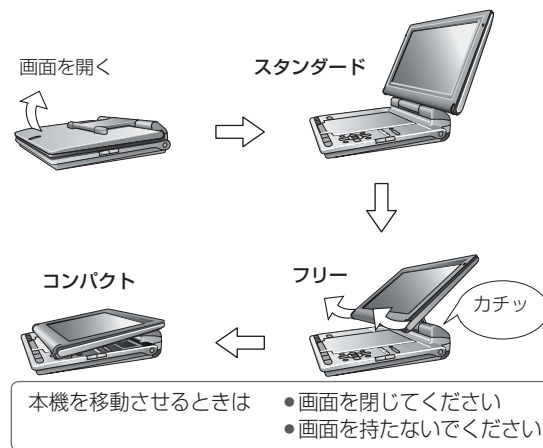
- 上記の時間は使用条件により異なります。
- 液晶画面の明るさを変えるには（☞14 ページ、液晶画面の画質を調整する）
- 別売バッテリーパック（DY-DBLS55）の使用方法は、本機に付属のバッテリーパック（VUADBLS50）と同じです。

バッテリーパックの残量確認

※バッテリーパック使用時、電源「入」状態（☞12 ページ）

画面に数秒間表示されます。(残量のおおよその目安としてください。)

- GUI 画面(☞20 ページ)が表示された場合、[リターン] を押すと、GUI 画面の表示が消えます。

画面の角度調整

本機を移動させるときは
- 画面を閉じてください
- 画面を持たないでください

液晶画面について

0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、故障ではありません。

車の中で楽しむ

後部座席で楽しむには（ヘッドレストブラケット）

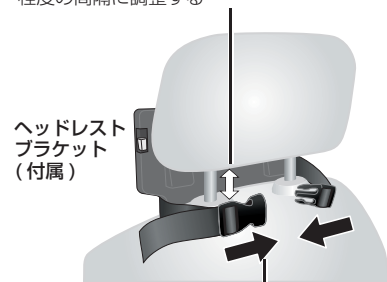
本機を前部座席に取り付け、後部座席で楽しむことができます。

車の走行中は、取り付け作業を行わないようにしてください。

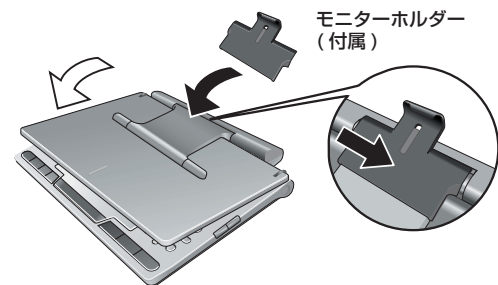
1 前部座席にヘッドレストブラケットを取り付ける

① ヘッドレストの高さを約 3cm 程度の間隔に調整する

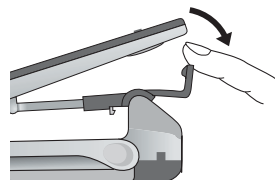
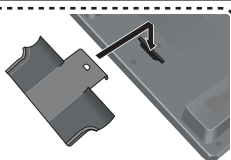
横から見た図

○ ×

② バックルをはめ、ベルトの長さを調整して、たるみがなくなるよう固定する。

2 モニターホルダーを取り付ける

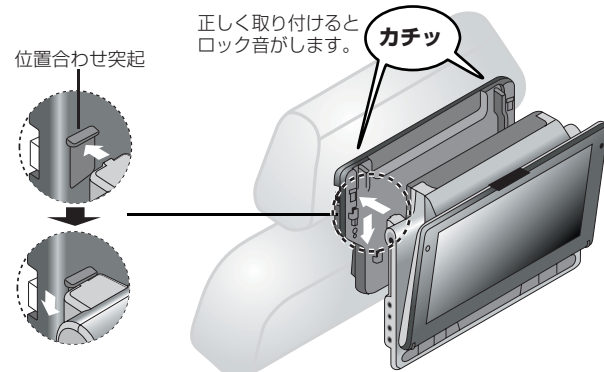
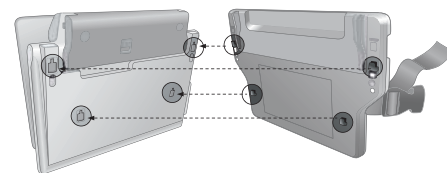
①モニターを前に倒し、モニターホルダーを取り付ける。

②モニターを回転し、モニターホルダーで固定する

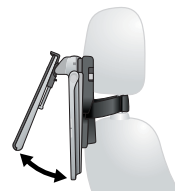
モニターが固定されていることを確認してください。

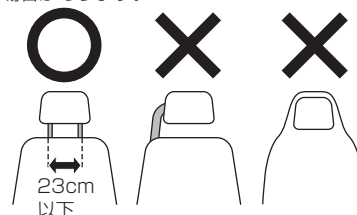
モニターの取り外し方

モニターホルダーを左図のように押さえると、モニターが外れます。

本機から取り外したモニターホルダーは、ブラケットに上図のように収納することが可能です。

3 本機をヘッドレストブラケットに取り付ける

プレーヤー本体を両手で持ち、ブラケットの位置合わせ突起の下側に本機を押し当て、ブラケットの突起を本機底面の穴にはめるように下方向に 4 ～ 5 mm 押し下げてください。

- プレーヤー本体が上方向に抜けないことを確認の上、ご使用ください。

ブラケットの突起と本機底面の穴は、下記を参考にはめてください。

取り付け完成図

車の振動による異音や傷つき防止のため、モニターは右図のように開いた状態でご使用ください。
角度は約 30 度まで調整可能です。

- 車の走行中の振動等により、角度が変動することがあります。

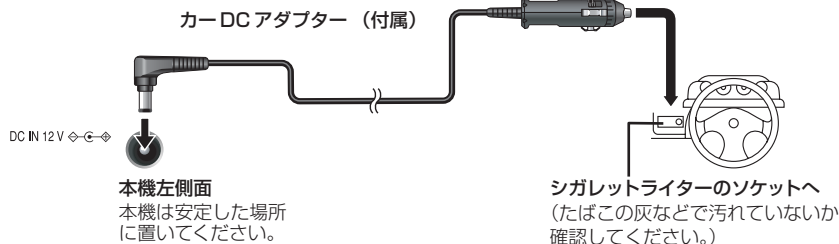
- シートの種類によっては取り付けられない場合があります。

本機のブラケットからの取り外し方

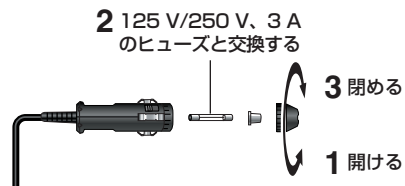
① ブラケットのリリースボタン（左右 2 ヶ所）を内側へ押し込む。
② 本機を上に引き上げる。
- 取り外す時以外は、リリースボタンを押さないようにしてください。

カー DC アダプター (付属) で使う (マイナスアース車専用)

自動車内でお使いになるときは、運転中の方は操作しないでください。
他の人が操作する場合でも、運転中の方の目に入らないようにしてください。

接続するには

- 詳しくは、ご使用の自動車の説明書をお読みになるか、販売店にご相談ください。
- 接続前に本機の電源を切ってください。
- 電圧 12V のシガレットライターソケットへ接続してください。(24V には対応していません。)

ヒューズを交換するには

125 V/250 V、3 A のヒューズと交換してください。

- **カーバッテリーの消耗を避けるために**
  – 使用後はカー DC アダプターをシガレットライターソケットから抜いてください。
  未使用時でも微少の電力を消費しています。バッテリーパック装着の場合、充電を開始して、さらに電力を消費します。
  – エンジン停止時は、カー DC アダプターで長時間使用しないでください。
- カー DC アダプターのコードは引っ張らないでください。
- エンジン停止前に本機の電源を切ってください。電源が入った状態でエンジンを停止した場合、レジューム再生（☞13 ページ) が働かない場合があります。
- 誤った取付けをして発生した損害に対しては当社は一切の責任を負いません。

本機左側面

別売カーステレオカセットアダプター（品番：SH-CDM10A）を本機左側面の［Ω］(ヘッドホン) 端子（どちらでも使えます）に接続して、カーステレオで音声を楽しむこともできます。

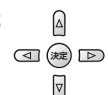
カーステレオ等で音声を楽しむには (FM トランスミッター)

本機からカーステレオ等の FM ラジオに音声を送信して、ディスクや AUX 端子に接続した機器を楽しむことができます。
- FM トランスミッターは、一般の FM 付ラジオ機器にもお使いいただけます。

映像・音声コード ([AV セレクト] で“AUX”選択時の場合を除く)、ヘッドホンを接続している場合､FM トランスミッターは働かないため､本機から抜いてください。

1 ディスクまたは接続した機器を再生する
(☞12 ページ、25 ページ)

2
FM トランスミッター

押してメニューを表示させる

3
[▲▼◀▶] で“ON”を選ぶ
[FM トランスミッター] 横のランプがオレンジ色に点灯します。

FM トランスミッター

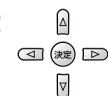
- **本機から音は出なくなります。**
  本機の音量は、画面の音量目盛りを以下のように設定してください。
  – 音楽 CD・・・真中くらい
  – DVD の映画ソフト等・・・右端近く

4 ラジオ側の FM 周波数を 83.5 MHz に合わせる
他の FM 放送が聞こえるときは
☞ 下記、“うまくいかないときは”手順 2 へ

5 ラジオ側で音量を調節する

- FM トランスミッターを「切」にするには､**[FM トランスミッター]** を押して **[▲▼◀▶]** で“OFF”を選ぶ。
- 画面を消すには、**[FM トランスミッター]** を押す。

うまくいかないときは

1
FM トランスミッター
押してメニューを表示させる

2
① **[▲▼]** で周波数を選ぶ (お買い上げ時は“83.5 MHz”と表示)
② **[◀▶]** で、76.3 MHz ～ 89.7 MHz 間で放送局が使用していない周波数（通常ラジオを聞いているときに放送の入らない周波数）を選ぶ（0.1 MHz ずつ）

3 手順 2 で設定した周波数に FM ラジオを合わせる

- 雑音が入るときは、ラジオのアンテナと本機を近づけてください。
  改善されないときは、メニュー画面表示中に［▲▼◀▶］で“MONO”を選んでください。

ディスクを再生する

- DVD-RAM はカートリッジから取り出してください。
- 電源が入った状態でディスクを入れると、再生が始まるものがあります。

3 電源が入るまで押したままにする

電源 入

再生が始まります。

- **“AUX” と表示されたときは、[AV セレクト] を押してください。**
(他の機器の映像や音声を楽しむには ☞25 ページ)

4 音量を調節する

VOL − +

ヘッドホン(別売)で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

- DVD-VR と別のフォーマット(JPEG 等) が混在するDVD-RAM内の JPEG や MP3 を再生するには、“データディスクとして再生” を選んでください (☞21 ページ、その他のメニュー)。
- **停止状態で約 15 分 (バッテリーパック使用時は約 5 分) 経過すると自動的に電源が切れます (オートパワーオフ)。**
- メニュー画面表示中はディスクが回っています。再生しないときは [■、ー切] で止めてください。
- + R/ + RW では、総タイトル数が正しく表示されないことがあります。
- 困ったときは、「故障かな！？」(☞30 〜 32 ページ) をご覧ください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

ボタン	機能	説明
電源 入 ▶	電源入・再生	電源「切」時 : 押したままにすると電源が入り、再生が始まる。 電源「入」時 : 押すと、再生が始まる。
▮▮	一時停止	[▶、電源 入]で通常再生に戻る。
ー切 ■	停止	“再生ボタンで続きから再生します。” 表示中は、停止位置が記憶されています (電源「切」時を含む)。 ● メッセージ表示中に [▶、電源 入] を押すと、停止位置から再生 (**レジューム再生**)。 ● メッセージ表示中に [■、ー切] を押すか、ふたを開けると、停止位置の記憶は解除。
	電源切	押したままにすると “OFF” が表示され、電源が切れる。
▮◀◀ ▶▶▮	スキップ	項目を飛び越す。 ● DVD-VR マーカーにもスキップします。
	早送り・早戻し (再生中)	押したままにすると、5 段階で速くなる。 [▶、電源 入] で通常再生に戻る。
	スロー再生 (一時停止中)	押したままにすると、5 段階で速くなる。 [▶、電源 入] で通常再生に戻る。 ● VCD [▶▶▮] のみ
トップメニュー	トップメニュー	DVD-V
	再生ナビ	DVD-VR (☞19 ページ)
	再生コンテンツメニュー	WMA MP3 JPEG (☞18 ページ)
メニュー	メニュー	DVD-V
	プレイリスト再生	DVD-VR (☞19 ページ)
	ナビメニュー	WMA MP3 JPEG (☞18 ページ)
リターン	リターン	前の画面に戻る。 ● VCD (プレイバックコントロール付き) メニューに戻る。
△ ◁ 決定 ▷ ▽	メニュー操作	[▲▼◀▶] で選び、[**決定**] で決定する。
	番号選択	● VCD (プレイバックコントロール付き) ①メニュー画面表示中、[**画面表示**] を押す。 ② [▲▼] で [**番号選択**] を選ぶ。 ③ [▶]→[▲▼] で番号を選び、[**決定**] を押す。 ● [▲▼]を押したままにすると速く変わります。
	コマ送り・コマ戻し (一時停止中)	[◀▶] でコマ送り・コマ戻し。 ● VCD [▶] のみ
	グループスキップ	WMA MP3 JPEG [▲▼] でグループを飛び越す。

便利な機能

液晶画面での 4:3 映像の表示方法を選ぶ

1 画面設定 押す

2 [▲▼] で項目を選ぶ

NORMAL：ノーマル (4:3 映像で表示)
FULL：左右にのびる
OFF：映像なし

- 液晶画面を使わないときは節電のため、"OFF" にすることをおすすめします。([⏻] ランプが点滅)
- 液晶画面を閉じると自動的に "OFF" になります。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

液晶画面の画質を調整する

1 画面設定 2 回押す

2 [▲▼] で項目を選び、[◀▶] で設定する

BRIGHT: 画面の明るさ (－５～５)
COLOUR: 色の濃さ (－５～５)
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

30 秒スキップ DVD-VR DVD-V +R/+RW には働きません

再生中に押す

- ディスクまたは再生箇所によっては、秒数が変わったり、機能が働かないことがあります。
- DVD-VR 静止画およびプレイリスト再生中は働きません。

リピート再生 経過時間が表示されるディスクのみ

JPEG 経過時間が表示されなくても働きます

1 画面表示 再生中に押す

2
① [▲▼] で、"その他の設定" を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、"再生メニュー" を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、"リピート" を選ぶ
④ [▶]→[▲▼] で、項目を選んで [決定] を押す

例：DVD-V

- 解除するには、手順 ④ で "切" を選び、[決定] を押す。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

好きな場面を繰り返す (A-B リピート再生) 静止画部分には働きません

1 画面表示 再生中に押す

2
① [▲▼] で、"その他の設定" を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、"再生メニュー" を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、"A-B リピート" を選ぶ
④ 始点／終点で [決定] を押す

- 解除するには、手順 ④ でもう一度 [決定] を押す。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

見たいタイトル / プログラムを探す (アドバンストディスクレビュー)

DVD-VR DVD-V +R/+RW には働きません

各タイトル / プログラムを、数秒間ずつ順に再生していきます。

1 画面表示 押す

2
① [▲▼] で、"その他の設定" を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、"再生メニュー" を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、"アドバンストディスクレビュー" を選び、[決定] を押す。

上記の画面が表示され、各タイトル / プログラムを順に再生

④ 再生したいタイトル / プログラムで [▶、電源入] を押す

- 各タイトル / プログラムを 10 分刻みで数秒ずつ表示するには、"アドバンストディスクレビュー" で "インターバルモード" を選択してください。(☞22 ページ、"ディスク")
- 再生位置によっては、働かない場合があります。
- DVD-VR 静止画およびプレイリスト再生中は働きません。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生 DVD-VR DVD-V

1 画面表示 再生中に押す

2
① [▲▼] で、"その他の設定" を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、"再生速度" を選び、[決定] を押す
③ [▲▼] で、好みの速さを選ぶ
[× 0.6↔ × 1.4（0.1 ずつ）]
④ [決定] を押す

- [▶、電源 入] を押すと、通常再生に戻ります。
- 速度調節中は
  – アドバンストサラウンド (☞ 下記)、マルチ リ . マスター (☞17 ページ)、H.Bass (☞17 ページ) およびサウンドエンハンスメント（☞21 ページ）は働きません。
  – デジタル出力は、PCM になります。
  – サンプリング周波数※が 96 kHz の場合、48 kHz になります。
- ディスクの記録状態によっては、働かない場合があります。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

※ サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定の時間間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。１秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

サラウンド効果を楽しむ（アドバンストサラウンド）

2ch 以上の動画ディスクに働きます

2 本のスピーカー（またはヘッドホン）でサラウンド効果が得られます。（本機のスピーカーでは効果を得られません。）

- サラウンド信号があるディスクの場合、横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。
- 接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。

押して、"SP 1 標準"、"SP 2 強"（SP：スピーカー）または "HP 1 標準"、"HP 2 強"（HP：ヘッドホン）を選ぶ

効果的な視聴位置

テレビのスピーカーを使う場合
テレビの横幅＝距離Ａ

- **ヘッドホン使用時**は、"HP 1 標準" または "HP 2 強" を選んでください。
- H.Bass（☞17 ページ）"入" 時は、働きません。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

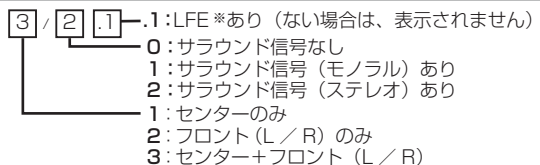
音声　動画ディスクに働きます

1 画面表示 再生中に押す

2
① [▲▼] で、“音声”を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、切り換える
③ [決定] を押す

メニュー
音声　1 英語

- DVD-VR VCD “L”（左）、“R”（右）、“L R”（左右）のいずれかを選べます。
- DVD-V カラオケディスクでは、“カラオケ”選択後、[▶]→[▲▼] でボーカルの入／切が選択できます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

音声属性の表示
LPCM/DD Digital/
DTS/MPEG：信号タイプ
kHz：サンプリング周波数
bit：ビット数
ch：チャンネル数
　GUI 画面では右記のように表示されます。

※ Low Frequency Effects（ロー フリケンシー エフェクツ）の略。低域強調チャンネルのこと。

字幕　字幕が記録されたディスクに働きます

1 画面表示 再生中に押す　2
① [▲▼] で、“字幕”を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、“入”または“切”、および字幕番号を切り換え、[決定] を押す

- ＋ R/ ＋ RW では、字幕が記録されていないディスクでも字幕番号が表示されることがあります。
- DVD-VR（字幕の入／切情報を含むディスク）
  – 字幕の入 / 切のみ切り換えることができます。
  – 当社製 DVD レコーダーは字幕の入／切情報を記録できません。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

アングルの切り換え　DVD-V アングルが複数記録されているディスクに働きます
画像回転 JPEG

1 画面表示 再生中に押す　2
① [▲▼] で、“アングル”もしくは“画像回転”を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、切り換える
③ [決定] を押す

例：DVD-V
メニュー
アングル　1 / 4

- 画面を消すには、[リターン] を押す。

再生状況を確認（クイック OSD）

■ ディスクの再生状況を表示するには

画面表示　例：DVD-V
2 回押す

■ ディスクの詳細情報を表示するには

画面表示　例：DVD-V
3 回押す

①音声（☞ 上記）
②字幕（☞ 上記）
③アングルの切換（☞ 上記）
④ディスクに記録された映像の縦横比

- 画面を消すには、[リターン] を押す。

より高音質・高画質で楽しむ

より自然な音質で聞く（マルチ リ . マスター）

- DVD-VR DVD-V（48 kHz で記録されたディスク）VCD CD：
  ディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで､より自然で豊かな音質が楽しめます。
- WMA MP3（8 kHz、16 kHz、32 kHz 以外で記録されたディスク）：
  圧縮時に失われた高い周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

1 画面表示 押す　2
① [▲▼] で、“その他の設定”を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、“音声メニュー”を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、“マルチ リ . マスター”を選ぶ
④ [▶]→[▲▼] で、“1”、“2”または“3”を選び、[決定] を押す

設定	DVD-V CD（LPCM）	その他のディスク
	音源に適した設定を選択	効果の強弱を選択
切	切	切
1	テンポの速い曲（ポップス・ロックなど）	弱
2	さまざまなテンポの曲（ジャズなど）	中
3	テンポの遅い曲（クラシックなど）	強

- H.Bass（☞ 下記）あるいはアドバンストサラウンド（☞15 ページ）動作時は働きません。
- 光デジタルケーブル接続時（☞24 ページ）、実際のサンプリング周波数は“PCM デジタル出力”の設定に合わせて変わります（☞23 ページ）。
- MP3 DVD-RAM および DVD-R/RW 内の MP3 には働きません。

重低音を楽しむ (H.Bass) DVD-V

1 画面表示 押す　2
① [▲▼] で、“その他の設定”を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、“音声メニュー”を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、“重低音 (H.Bass)”を選ぶ
④ [▶]→[▲▼] で、“入”または“切”を選び、[決定] を押す

メニュー
重低音(H.Bass)　切

- ＤＶＤビデオの5.1chディスクに働きます。また、2chディスクにも一部効果が あるものがあります。
- デジタル出力は、PCM 2ch に切り換わります。
- 音声がひずんだり、雑音が聞こえる場合は“切”を選んでください。

映画向けの画質にする (シネマ 1/ シネマ 2)

シネマ 1：映画館で見ているようなしっとり感
シネマ 2：昔の映画などをくっきり

メニュー
ピクチャーモード　ノーマル
✓ノーマル
シネマ1
シネマ2
ユーザー

1 画面表示 押す　2
① [▲▼] で、“その他の設定”を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、“画質メニュー”を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、“ピクチャーモード”を選ぶ
④ [▶]→[▲▼] で、**“シネマ 1”**または**“シネマ 2”**を選び、[決定] を押す

画面上のノイズを取り除く (デプスエンハンサー /MPEG DNR)

デプスエンハンサー：主に背景部分に現れるノイズを除去することで、奥行き感のある映像を楽しめます。
MPEG DNR：動画に見られるモザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に現れるもやのようなノイズを除去します。

1 ① 上記“シネマ 1/ シネマ 2”手順 2 ー④で“ユーザー”を選び、[決定] を押す
② [▼] で、“詳細画質設定”を選び、[決定] を押す。

2
[▲▼] で、“デプスエンハンサー”または“MPEG DNR”を選び、[◀▶] で調整する
(デプスエンハンサー：0 ～ +4、MPEG DNR：0 ～ +3)

- 上記音声、画質調整はディスクの記録状態により、効果が得られないことがあります。
- 上記画面を消すには、[リターン] を 1 回もしくは数回押す。

データディスクの再生 WMA MP3 JPEG

以下の場合、“その他のメニュー” で “データディスクとして再生” を選んでください（☞21 ページ）。
–HighMAT 規格で記録されたディスクを HighMAT 機能を使わずに再生する
–DVD-VR と他のコンテンツ（JPEG など）が混在する DVD-RAM 内の JPEG や MP3 を再生する

項目を順番に再生する (再生コンテンツメニュー)

メニュー画面表示中
[▲▼] で “オール”、“オーディオ”、“写真” を選び、[決定] を押す
● 画面の入 / 切は、[トップメニュー] を押す。

全ての項目
WMA/MP3
JPEG

項目を選んで再生する (ナビメニュー)

[▲▼◀▶] でグループを選び、[決定] を押す

3 ●グループ内のコンテンツを順番に再生するには
[決定] を押す
●コンテンツを選んで再生するには
[▲▼] でコンテンツを選び、[決定] を押す

再生中のグループ番号、コンテンツ番号

：JPEG
：WMA/MP3
選択中の番号
グループ　コンテンツ

● **JPEG 画像を見ながら、WMA/MP3 を楽しむには**
JPEG コンテンツを選択した後、WMA/MP3 コンテンツを選ぶ。（逆の順序では、できません。）
● 画面を消すには、[メニュー] を押す。

サブメニューを使う (表示される項目はコンテンツによって異なります)

① ナビメニュー（☞ 上記）表示中、[画面表示] を押す
② [▲▼] で項目を選び、[決定] を押す

項目	内容
✓マルチ	グループとコンテンツを同時に表示
リスト	コンテンツを表示
ツリー	グループを表示
サムネイル	サムネイル画面（画像の一覧）を表示 JPEG
✓オール	全ての項目を表示
オーディオ	WMA ／ MP3 コンテンツのみ表示
写真	JPEG コンテンツのみ表示
✓ヘルプ表示	操作ガイドと再生状況表示の切り換え
検索	タイトルを検索して再生（☞ 下記）

タイトルを検索して再生するには

● ローマ字入力すると、その語句を含むタイトルを検索します。(大／小文字は区別されません)
● グループ名を検索するときはナビメニュー画面内のカーソルを “グループ” 側に、コンテンツ名を検索するときは “コンテンツ” 側に置いてください。

① サブメニュー（☞ 上記）を表示中、[▲▼] で “検索” を選び、[決定] を押す
② [▲▼] で文字を選び、[決定] を押す
● 続けて入力するにはこの手順を繰り返す。
● [|◀◀ ▶▶|] を押したままにすると「A、E、I、O、U」にスキップします。
● 確定した文字を消すには [◀] を押す。
● 入力した文字で始まるタイトルを検索するには、[◀] で “＊” を消してから手順 ② を行う。
③ [▶] で “検索” を選び、[決定] を押す
検索結果が画面に表示されます。
④ [▲▼] でグループまたはコンテンツを選び、[決定] を押す

プログラムやプレイリストの再生 DVD-VR

●タイトルはディスクに記録されている場合のみ表示されます。
●本機では、タイトルやプレイリストの編集はできません。

プログラムを選んで再生 (再生ナビ)

1 トップメニュー
押す

2 **[▲▼] でプログラムを選び、[決定] を押す**
● [▶] を押すと、番組内容およびディスク内容が表示されます。
● 画面を消すには [リターン] を押す

プレイリストを再生 ※プレイリストが作成されたディスクのみ

2 **[▲▼] でプレイリストを選び、[決定] を押す**
● 画面を消すには [リターン] を押す

HighMAT™ CD の再生 WMA MP3 JPEG

メニュー画面表示中
[▲▼◀▶] で内容を選び、[決定] を押す

メニュー：
このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。

プレイリスト：
再生が始まります。

●メニュー画面に戻るには、[トップメニュー] を押してから [リターン] を数回押す。
●ディスクに記録されたメニュー画面に切り換えるには、メニュー画面表示中に [画面表示] を押す。
●画面の入／切は、[トップメニュー] を押す。

リスト画面から選んで再生する

① [◀]→[▲▼] でリストを切り換える
② [▶]→[▲▼] で選び、[決定] を押す
●画面を消すには、[メニュー] を押す。

メニュー画面を使った CD・CD テキストの再生 CD

1 メニュー
押す

例：CD テキスト

操作ガイドと再生状況表示を切り換えるには [画面表示] を押す。

2 **[▲▼] で曲を選び、[決定] を押す**
● 画面を消すには、[リターン] を押す。

GUI 画面を使って操作する

1 画面表示 押す

2 ①[▲▼] でメニューを選び、[▶] で次の項目に進む
②[▲▼] で内容を選び、設定する
必要であれば、この手順を繰り返す。

- 表示される項目はディスクによって異なります。
- 前の項目に戻るには、[◀] を押す。
- 設定が変わらない場合は [決定] を押す。
- 終了するには［リターン］を押す。

メニュー

プログラム、グループ、タイトル、チャプター、トラック、プレイリスト、コンテンツ	項目を指定して再生 •[▲▼]で選択後、[決定]を押す。 •[▲▼]を押したままにすると速く変わります。
時間	時間を指定して飛びこす（再生専用タイムワープ） +R/+RWには働きません 1.［決定］を2回押して、タイムワープインジケーターを表示させる 2. [▲▼]で時間を選び、［決定］を押す •[▲▼]を押したままにすると速く変わります。 経過時間／残り時間表示切り換え
音声	（☞16ページ）
番号選択	VCD（プレイバックコントロール付き） [▲▼] で番号を選択する ●[▲▼]を押したままにすると速く変わります。
サムネイル	サムネイル（画像の一覧）画面表示
字幕	（☞16ページ）
マーカー（VR）	DVDレコーダーで付けたマークを呼び出す
アングル	（☞16ページ、アングルの切り換え）
画像回転	（☞16ページ、画像回転）
スライドショー	入 ⟷ 切 間隔を “1 速い”～“5 遅い” の間で変更できます。 ●再生位置によっては、スキップおよび画像の回転が正常に働かない場合があります。
その他の設定	（☞下記）

その他の設定

再生速度	（☞15ページ、早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生）

再生メニュー

経過時間表示の出るディスクのみ。JPEG リピートはできます。

リピート	（☞14ページ）
A-Bリピート	（☞14ページ）
アドバンストディスクレビュー	（☞15ページ）

画質メニュー

ピクチャーモード	シネマ1、シネマ2（☞17ページ、映画向けの画質にする） デプスエンハンサー、MPEG DNR（☞17 ページ､画面上のノイズを取り除く）

音声メニュー

重低音(H.Bass)	（☞17ページ、重低音を楽しむ）
アドバンスト サラウンド	（☞15ページ、サラウンド効果を楽しむ）
シネマボイス	映画のセリフを聞き取りやすくする DVD-V（ドルビーデジタル、DTS、3チャンネル以上でセンターチャンネルにセリフが入っているディスク） 切 ⟷ 入
マルチ　リ.マスター	（☞17ページ、より自然な音質で聞く）
サウンドエンハンスメント	アナログのまろやかな音質に近づける DVD-VR DVD-V（48 kHzで記録されたディスク） VCD CD WMA MP3（8 kHz、16 kHz、32 kHz以外で記録されたディスク） 切 ⟷ 入 • MP3 DVD-RAM および DVD-R/RW 内の MP3 には働きません。 • アドバンストサラウンド（☞15 ページ）、マルチ リ . マスター（☞17 ページ）および H.Bass（☞17 ページ）動作時は働きません。 • ディスクの記録状態により、効果が得られないことがあります。

表示メニュー

情報表示	切 ⟷ 入
字幕位置	0～−60（2段階ずつ）
字幕明るさ	オート（明るさを自動調節する)、0～−7
ぴったりズーム	動画ディスクに働きます いろいろな横縦比の画像を液晶画面またはテレビ画面のサイズに近づける。 [▲▼]で、それぞれの横縦比あるいは“オート”を選び、［決定］を押す
任意ズーム	動画ディスクに働きます [▲▼]でズーム倍率を調節する。（押したままにすると速く変わります。） ×1.00～×1.60（×0.01ずつ） ×1.60～×2.00（×0.02ずつ）
ビットレート表示	動画ディスクに働きます 切 ⟷ 入
GUIシースルー	GUIメニューの背景を半透明にする 切 ⟷ 入 ⟷ オート（映像が表示されると自動的に半透明にする）

その他のメニュー

初期設定	（☞22ページ、初期設定を変える）
DVD-VRとして再生 HighMATとして再生 あるいは データディスクとして再生	以下の場合、“データディスクとして再生”を選んでください。 –DVD-VR と他のコンテンツ（JPEG など）が混在する DVD-RAM 内の JPEG や MP3 を再生する –HighMAT 規格で記録されたディスクを HighMAT 機能を使わずに再生する

初期設定を変える

- 22 ～ 23 ページの表をご覧になり、必要に応じて変更してください。
- 日本語のようにアミのかかった項目は、お買い上げ時の設定です。
- 変更した設定は電源を切っても保持されます。

1 画面表示

押す

2

① [▲▼] で、“その他の設定” を選ぶ
② [▶]→[▲▼] で、“その他のメニュー” を選ぶ
③ [▶]→[▲▼] で、“初期設定” を選び、[決定] を押す

3

[▲▼◀▶] で
メニュー･項目･
内容を選び、
[決定] を押す

メニュー　項目　内容

- 番号を入力するには、[▲▼] で番号を入力し、[決定] を押す。
- ひとつ前の画面に戻るには［リターン］を押す。
- 設定を終了するには［リターン］を数回押す。

ディスク

項目	内容
音声言語	● 日本語　● 英語　●オリジナル（ディスクの最優先言語） ● その他＊＊＊＊※
字幕言語	●オート （“音声言語” で選んだ言語で再生されなかったとき、字幕でその言語を表示） ● 日本語　● 英語　● その他＊＊＊＊※
メニュー言語	●日本語　● 英語　● その他＊＊＊＊※
アドバンストディスクレビュー 再生の間隔が選べます。 （☞15 ページ）	●イントロモード：各タイトル / プログラムの先頭を数秒ずつ表示 ● インターバルモード：各タイトル / プログラムを 10 分刻みで数秒ずつ表示
視聴制限 DVD ビデオの視聴が制限できます。	●レベル 8：すべて再生可 ● レベル 1 ～ 7：記録のレベルに応じて再生不可 ● レベル 0：すべて再生不可 レベルを設定すると、暗証番号入力画面が表示されます。 画面の指示に従ってください。 **暗証番号は忘れないでください。** ● 視聴制限を超える DVD ビデオを入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

※ 言語番号（☞23 ページ）を入力します。

映像

項目	内容
TV アスペクト テレビサイズに合わせた映像の表示方法が選べます。	●4:3 パン&スキャン：標準サイズのテレビ 16:9 の映像は左右の切れた映像で表示 （パン&スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。） ● 4:3 レターボックス：標準サイズのテレビ 16:9 の映像は上下に帯のある映像で表示 ● 16:9：ワイドサイズのテレビ 必要に応じてテレビ側の画面モードの設定を変えてください。
スチルモード 一時停止時の画像の表示方法が選べます。	●オート ● フィールド：画像にブレが発生するとき ● フレーム：小さい文字や細かい絵柄が見えにくいとき

音声

項目	内容
PCM デジタル出力 （☞24 ページ、光デジタルケーブルでの接続時のみ） デジタル出力の入／切とサンプリング周波数の上限を設定	接続機器が対応しているサンプリング周波数に合わせて選んでください。 ● 切：光デジタルケーブルで接続しないとき（アナログ出力の音質を高めます。） ●最高 48kHz：48 kHz または 44.1 kHz まで対応 ● 最高 96kHz：96 kHz または 88.2 kHz まで対応 ● 最高 192kHz：192 kHz または 176.4 kHz まで対応 • ディスクが著作権保護されているときは 48 kHz または 44.1 kHz に変換します。 • 96 kHz に対応している接続機器でも、88.2 kHz に対応していないことがあります。（詳細は接続機器の説明書をご参照ください。）
Dolby Digital （☞24 ページ、光デジタルケーブルでの接続時のみ）	●Bitstream：右記ロゴのある機器と接続するとき ● PCM：右記ロゴのない機器と接続するとき
DTS Digital Surround （☞24 ページ、光デジタルケーブルでの接続時のみ）	●Bitstream：右記ロゴのある機器と接続するとき ● PCM：右記ロゴのない機器と接続するとき DIGITAL dts SURROUND
音声のダイナミックレンジ圧縮（ドルビーデジタルのみ） 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	●切　● 入 • FM トランスミッター（☞11 ページ）使用時は、「入」に設定されます。

画面表示

項目	内容
画面メニュー言語 初期設定画面、操作画面の言語を選びます。	● 日本語　● English（英語）
画面メッセージ 画面メッセージを表示する、しないを選びます	● 入　● 切

その他

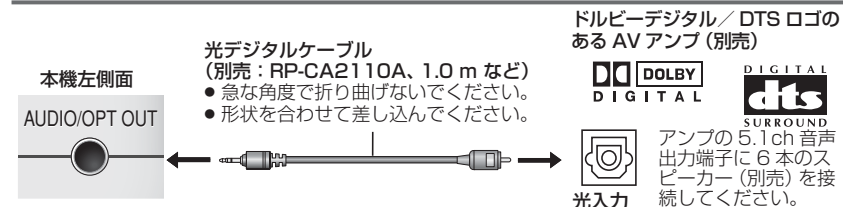
項目	内容
設定の初期化 本機をお買い上げ時の状態に戻します。	● する：視聴制限（☞22 ページ）を設定しているときは、暗証番号を入力後、[決定] を押してください。“オールクリア” が表示されてから約 10 秒後に [決定] を押し、電源を入れ直してください。 ● しない

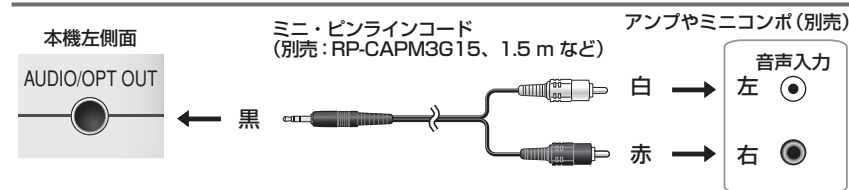
言語番号一覧表

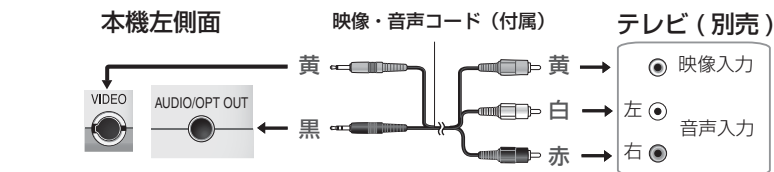
言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	オーリヤ	7982	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベトナム	8673
アイマラ	6589	オランダ	7876	ジャワ	7487	トンガ	8479	ベロルシア（白ロシア）	6669
アイルランド	7165	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ドイツ	6869	ベンガル（バングラ）	6678
アゼルバイジャン	6590	カシミール	7583	スロバキア	8375	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アッサム	6583	カタロニア	6765	スロベニア	8376	日本語	7465	ポーランド	8076
アファル	6565	ガリチア	7176	スワヒリ	8387	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アフリカーンス	6570	韓国（朝鮮）語	7579	スンダ	8385	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アブハジア	6566	カンナダ	7578	スペイン	6983	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アムハラ	6577	カンボジア	7577	ズールー	9085	ハンガリー	7285	マライ（マレー）	7783
アラビア	6582	キルギス	7589	セルビア	8382	バシキール	6665	マラッタ	7782
アルバニア	8381	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	バスク	6985	マラヤーラム	7776
アルメニア	7289	クルド	7585	ソマリ	8379	パシュト	8083	マルタ	7784
イタリア	7384	クロアチア	7282	タイ	8472	パンジャブ	8065	マダガスカル	7771
イディッシュ	7473	グアラニー	7178	タタール	8484	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
インターリングア	7365	グジャラト	7185	タミル	8465	ビハール	6672	モンゴル	7778
インドネシア	7378	グリーンランド	7576	タガログ	8476	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
ウェールズ	6789	グルジア	7565	タジク	8471	フィジー	7074	ラオ	7679
ウォロフ	8779	ケチュア	8185	チェコ	6783	フィンランド	7073	ラテン	7665
ヴォラピュック	8679	ゲール（スコットランド）	7168	中国語	9072	フェロー	7079	ラトビア（レット）	7686
ウクライナ	8575	コーサ	8872	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウズベク	8590	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	フリジア	7089	リンガラ	7678
ウルドゥー	8582	サモア	8377	テルグ	8469	ブータン	6890	ルーマニア	8279
英語	6978	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
エストニア	6984	ショナ	8378	トウイ	8487	ブルターニュ	6682	ロシア	8285
エスペラント	6979	シンド	8368	トルクメン	8475	ヘブライ	7387		

他の機器と接続して楽しむ

接続前に、全ての機器の電源を切り、それぞれの機器の説明書もよくお読みください。

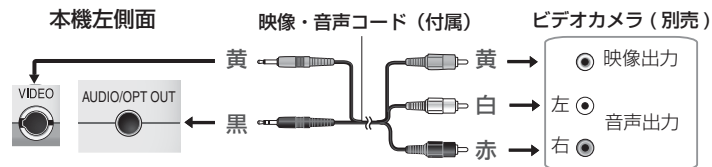
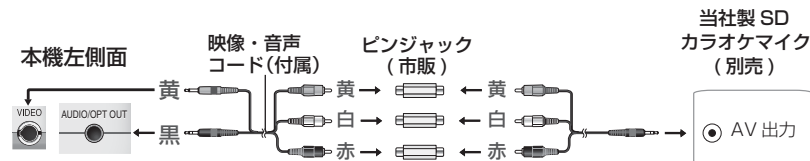
5.1ch 音声で楽しむ

● 接続した機器に合わせて、“PCM デジタル出力”、“Dolby Digital”、“DTS Digital Surround”の設定を変更してください（☞23 ページ）。

2ch 音声で楽しむ

テレビやプロジェクターで映像を楽しむ

● 接続前にテレビの電源を切ってください。（テレビの説明書もよくお読みください。）
● **本機とテレビの間にビデオなどを経由させて接続しないでください。**

● 本機のスピーカーは､防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。また本機にキャッシュカードや定期券、時計などを近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で正しく働かなくなることがあります。
● 本機の再生時にテレビ側で音量を上げると、テレビ放送に切り換えたときに大きな音が出ることがあります。切り換える前にテレビの音量を元に戻してください。

他の機器の映像や音声を楽しむ

1 本機に機器を接続する

■ ビデオカメラの場合

■SD カラオケマイクの場合

2

押して“AUX”を選ぶ

● 再生操作は接続する機器の側で行ってください。（接続する機器の説明書もよくお読みください。）
● オートパワーオフ（☞12 ページ）は働きません。続けて再生しないときは､電源を切ってください。

著作権

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」および「DTS 2.0 + Digital Out」は DTS 社の商標です。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスを受けています。

HighMAT™、HighMAT ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA(Windows Media™ Audio) とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

バッテリーパックは誤った使い方をしない

- **本機以外の機器で充電しない**
- **本機以外の機器に接続しない**
- **クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造したりしない**
- **端子部（⊕と⊖）に金属物（針金など）を接触させない**
- **金属物（ネックレス、ヘアピンなど）と一緒に持ち運んだり保管しない**
- **火への投入、加熱をしない**
- **火のそばや炎天下など高温の場所や、静電気の発生する場所で充電・使用・放置をしない**
- **汚したり、水でぬらしたり異物を入れたりしない**
  （バッテリーパックは防水構造ではありません）

- 長期間使用しないときは、取り外しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、発熱・発火・破裂の原因になります。
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ると、失明の恐れがあります。万一、このようなことが起こったら、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。

警告

電源プラグ、カーDCアダプターの入力プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

異常があったときは電源プラグ、カーDCアダプターの入力プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。
- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使わないときは、電源プラグを抜いてください。

ACアダプター、カーDCアダプターは付属品を使う

指定外の製品を使用すると、火災の原因になります。

カーDCアダプターはDC12Vのマイナスアース車専用です

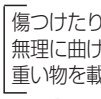
プラスアース車に使用すると、火災や故障の原因になります。

カーDCアダプターは運転の妨げにならないように取り付ける

接続したコードなどに引っかかり運転に支障をきたすと、交通事故やけがの原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V～240V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ACアダプター・カーDCアダプター・電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、電源プラグおよびカーDCアダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

レーザー光を見つめない

視力障害の原因になります。

水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

歩行中や、乗り物を運転中に使用しない

交通事故の原因になります。

警告

自動車内でのヘッドレストブラケットの取り扱いに注意する

- **車の走行中に取り付け、取り外ししない**
- **シートの後ろ以外には取り付けない**
- **運転者の視界を妨げる場所に取り付けない**
- **エアバッグの動作を妨げる場所に取り付けない**
- **運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に取り付けない**

交通事故、けがの原因となります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

接触禁止

注意

ヒューズを交換するときは、指定のものを使用する

火災の原因になりますので、指定外のヒューズは使用しないでください。

航空機内では FM トランスミッターを「切」にする

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医用電気機器のある場所では FM トランスミッターを「切」にする

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

注意

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは FM トランスミッターを「切」にする

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

異常に温度が高くなるところや湿気、ほこりの多いところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところに長時間放置したり、ストーブの近くや浜辺など砂の多いところで使用しないでください。

ひざの上などで長時間使用しない

機器の底面が熱くなり、低温やけどの原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない

本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

ヘッドレストブラケットを使用するときは、ブラケットのベルトをしっかり固定し、本機がロックされていることを確認する

車の事故や急発進、急ブレーキにともない、本機がはずれてけがの原因となります。

Q&A（よくあるご質問）

5.1ch 音声を楽しむには、どのような機器が必要か	ドルビーデジタル／DTS ロゴのある AV アンプ（5.1ch 音声出力端子付き）と接続します。**24 ページ**
海外でも使えるか	地域に合わせた変換プラグをご用意いただくと、海外旅行にもお持ちいただけます。ただし本製品は日本国内向けに設計されているため、海外で常時使用はしないでください。また、本機の映像方式は NTSC ですので、PAL 方式のテレビとつなぐことはできません。 保証は国内のみ有効です。
海外で買った DVD ビデオを再生できるか	リージョン番号が「**2**」を含むか「**ALL**」で、映像方式が NTSC であれば、再生できます。 ディスクのジャケットをご確認ください。
飛行機内や病院で使えるか	本機が出す電磁波により、飛行機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。航空会社や病院の指示に従ってください。
パソコンと接続できるか	AV 入力端子付のパソコンと接続すると、テレビのようにパソコンのモニターでお楽しみいただけます。ただし、パソコンの周辺機器としてはお使いいただけません。
本機からデジタル信号のまま MD などに録音できるか	● デジタル信号（PCM）で録音できます。DVD の音声を録音する場合は、本機で以下の設定をしてください。 “PCM デジタル出力”　：“最高 48 kHz” **23 ページ** “Dolby Digital”　：“PCM” **23 ページ** “DTS Digital Surround”　：“PCM” **23 ページ** “アドバンストサラウンド”　：“切” **15 ページ** （ただしディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz に対応していることが必要です。） ● WMA、MP3 は録音できません

使用上のお願い

ディスクのお手入れについて

ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

ディスクに霧がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

再生面（光っている面）
○　×
内側から外側へ

ディスクの取り扱いについて

ディスクの破損や機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルを貼らない（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります。）
- 鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- ディスクを落としたり、重ねたり、物をのせたり、衝撃を与えたりしない
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める
- 以下のディスクを使わない
  —シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク（レンタルディスクなど）
  —そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  —ハート形など、特殊な形のディスク
- 次のような場所に置かない
  —直射日光の当たるところ
  —湿気やほこりの多いところ
  —暖房機具の熱が直接当たるところ
  —静電気や電磁波が発生するところ

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。
- 液晶部のひどい汚れには、メガネクリーナーをおすすめします。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

きれいな音声、映像でお楽しみいただくために

- レンズは定期的にお手入れすることをおすすめします。
  推奨品：レンズクリーナーキット（品番：SZZP1038C）（お買い上げの販売店にご注文ください。松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。☞2 ページ）
- CD タイプのレンズクリーナーはご使用になれません。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

以下の現象が起こるときがありますが、異常ではありません。
- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 長時間使うと、本体表面が多少熱くなる。
- 充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる。

電 源

電源が入らない	● バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。**6 ページ** ● 高／低温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。 本機およびバッテリーパックは 5℃～ 35℃の間で使用してください。
勝手に電源が切れる	● 停止状態で放置すると AC アダプター使用時は約 15 分で、バッテリーパック使用時は約 5 分で電源が切れます。（**オートパワーオフ**） 電源を入れ直してください。
充電できない （[CHG]ランプが点灯しない）	● 電源が入っていると充電できません。 ● 高／低温下では、通常よりも充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。 ● バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。**6 ページ**
充電しても再生時間が極端に短い	● バッテリーパックの寿命です。（充電回数：約 300 回が目安）
車のソケットに接続したカー DC アダプターが安定しない （またはソケットにはまらない）	安定しないときは、カー DC アダプターのスイッチを“W”に、ソケットにはまらないときは“N”に、それぞれ切り換えてください。**10 ページ**

操 作

各ボタン操作ができない	● 特定の操作を禁止しているディスクもあります。 ● 落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。本機の電源を一度、切／入してください。または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。
再生できない（またはすぐに停止する）	● 寒い所から急に暖かい所へ持ち込むと露つきが発生し、再生できない場合があります。1 ～ 2 時間放置してください。 ● 再生できるディスクかどうか確認してください。**4 ページ** ● ディスクが汚れていませんか？ **29 ページ** ● ディスクを正しくセットしてください。**12 ページ** ● 静止画を含む WMA は再生できないことがあります。 ● ディスクに CD-DA（CD）と別のフォーマットが含まれている場合、正しく再生できないことがあります。 ● 記録済みのディスクが入っていますか？
曲が再生されるまでに時間がかかる	● 静止画データの入った MP3 ファイルでは時間がかかることがあります。また、再生後も時間が正確に表示されないことがあります。
スキップ・早送り／早戻し中にメニュー画面が表示される	● ビデオ CD では正常な動作です。
VCD（プレイバックコントロール付き） PBC メニュー画面が表示されない	● ［■、ー切］を 2 回押した後、［▶、電源 入］を押してください。
AB リピートの終点（B 点）が自動的に決定される	● 始点（A 点）のみを設定すると、タイトル／トラックなどの終わりが B 点となります。
字幕が出ない	● 字幕の入ったディスクのみ表示します。 ● 字幕を“入”にしてください。**16 ページ**

操 作

視聴制限で設定した暗証番号を忘れた	● 以下の操作で、すべての設定を工場出荷時に戻してください。停止状態で、本体の［I◀◀］と［❚❚］を押しながら、［▶、電源 入］を 3 秒以上押す。（画面の“オールクリア”が消えたことを確認し、電源を切 / 入してください。）

映 像

液晶画面が暗い	● 明るさを調整してください。**14 ページ**
液晶画面の一部の画素が欠けたり常時点灯する	● カラー液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上が有効画素であるものを採用しておりますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではありません。
液晶画面に映像が映らない	● 接続を確認してください。**6 ページ** ● モニター設定が“OFF”（映像なし）になっていませんか？ **14 ページ**
映像が乱れる	● 早送り／早戻し時､多少乱れが出ることがありますが､故障ではありません。
字幕の位置がおかしい	● 字幕位置の調節をしてください。**21 ページ**
メニュー画面が正しく表示されない	●“任意ズーム”の倍率を“×1.00”にしてください。**21 ページ** ● 字幕位置を“0”にしてください。**21 ページ**
テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	● 本機とテレビは直接接続してください。**24 ページ** ● 接続を確認してください。**24 ページ** ● テレビの電源は入っていますか？ ● テレビの入力切換は正しいですか？ ● テレビ側の画面モードを変更してください。 ●“TV アスペクト”は、正しく設定されていますか？ **22 ページ** ●“表示メニュー”の“ぴったりズーム”で調節してください。**21 ページ**
オートズーム（ぴったりズーム）が働かない	● テレビ側のズーム機能を解除してください。 ●“任意ズーム”で微調整してください。**21 ページ** ● 映像全体が暗かったり、ディスクの種類によっては、働かないことがあります。

音 声

本機のスピーカーから音が出ない	● FM トランスミッターを「切」にしてください。**11 ページ** ● 液晶画面を閉じていませんか？ ● ヘッドホンを抜いてください。 ● ボリュームを上げてください。**12 ページ**
雑音が聞こえる	● 本機と携帯電話を近づけて使っていませんか？ ● WMA の再生中に雑音が生じることがあります。
外部スピーカーから音が出ない	● 接続、設定を確認してください。**24、23 ページ**
FM トランスミッターが働かない	● ヘッドホン、映像・音声コードを本機から抜いてください。
音が途切れる	● 再生速度を切り換えるときに、音が途切れることがあります。
音声がひずむ	● アドバンストサラウンドを「切」にしてください。**15 ページ**
5.1ch 再生ができない	● 早見／早聞き・遅見／遅聞き再生中は 2 チャンネル出力になります。
耳を刺激するような音が出る	● 光デジタルケーブルで接続しているときは、“Dolby Digital”や“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。**23 ページ**
音声効果が働かない	● アドバンストサラウンド、H.Bass、マルチ リ.マスター、サウンドエンハンスメントは早見／早聞き・遅見／遅聞き再生中は働きません。 ● 音声効果が働かなかったり、出にくいディスクもあります。 ● 光デジタルケーブル接続時、音声効果は Bitstream 信号には働きません。**24、23 ページ**

ランプの点滅

[⏻] ランプがすばやく点滅	● 本体に異常が発生しました。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」に修理をご依頼ください。**34 ～ 35 ページ**
[⏻] ランプがゆっくり点滅	● 電源「入」状態で液晶画面が閉じている、または液晶画面の設定が“OFF”（映像なし）になっています。再生しないときは電源を切ってください。**14 ページ**
[CHG] ランプがすばやく点滅	● バッテリーパックに異常が発生しました。 電源を入れて画面の表示をご確認ください。**下記**
[CHG] ランプがゆっくり点滅	● 電池残量が少なくなっています。（数分すると、電源が切れます。）

画面の表示

“⃠”	● ディスクまたは本機で禁止されている操作です。
“Gxx Cxx の画像ファイルは表示できません”	● 本機で表示できない画像ファイルです。
“ディスクを確認してください” “U11”	● ディスクが汚れていませんか？。**29 ページ** ● ディスクはファイナライズされていますか？（DVD-RAM はファイナライズ不要です。）**4 ページ**
“選択できません”	● [■、ー切] を押してから、再度操作してください。
画面メッセージが出ない	● “画面メッセージ”を“入”にしてください。**23 ページ**
ERROR 01	● バッテリーパックに異常が発生しました。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」にご相談ください。**34 ～ 35 ページ**
ERROR 02	● 20 時間充電し続けましたが、何らかの理由で完全充電されていません。再度充電してください。
ERROR 03	● 暑いまたは寒い場所で充電しています。常温の場所で充電してください。
“H □□” （□□は数字）	● 異常が発生しました。（“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、切／入してください。 または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。

処置をしても“H □□”が消えないときは

お買い上げの販売店または、お近くの「修理ご相談窓口」（35 ページ）に修理をご依頼ください。
その場合、画面に表示される番号をお知らせください。

主な仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

再生可能ディスク（8cm、12cm）
(1) DVD（DVD ビデオ）
(2) DVD-RAM（DVD-VR、JPEG※1,2,4、MP3※2,5）
(3) DVD-R（DVD ビデオ、DVD-VR、JPEG※1、2、4、MP3※2、5）
(4) DVD-R DL（DVD ビデオ、DVD-VR）
(5) DVD-RW（DVD ビデオ、DVD-VR、JPEG※1、2、4、MP3※2、5）
(6) +R/RW（ビデオ）
(7) +R DL（ビデオ）
(8) CD、CD-R/RW [CD-DA、ビデオ CD、SVCD※3、MP3※2、5、WMA※2、6、JPEG※1、2、4、HighMAT レベル 2（音声、静止画）]

信号形式 NTSC

液晶ディスプレイ
9 型 α－ Si TFT ワイド液晶モニター

コンポジット映像出力 / 入力
出力 / 入力レベル：1 Vp-p（75 Ω）
出力 / 入力端子：ミニジャック (Φ 3.5 mm)
端子数：1 系統(入出力切換式)

音声出力 / 入力
出力 / 入力レベル :1.5 Vrms（1 kHz、0 dB、10 k Ω）
出力 / 入力端子 : ステレオミニジャック (Φ 3.5 mm)
端子数：ステレオ 1 系統 (入出力切換式)

音声出力特性
周波数特性
● DVD（リニア音声):
4 Hz ～ 22 kHz（48 kHz サンプリング）
4 Hz ～ 44 kHz（96 kHz サンプリング）
● CD audio：4 Hz ～ 20 kHz（JEITA）
S/N 比
● CD audio：115 dB (JEITA)
ダイナミックレンジ
● DVD（リニア音声):98 dB
● CD audio：97 dB（JEITA）
全高調波歪率
● CD audio：0.008 %（JEITA）

デジタル音声出力
出力端子：ステレオミニジャック (Φ 3.5 mm)
端子数：1 系統（音声出力 / 入力端子と兼用）

ヘッドホン出力
出力端子：ステレオミニジャック (Φ 3.5 mm)
端子数：2 系統

FM トランスミッター
送信周波数範囲：76.3 MHz ～ 89.7 MHz
（デジタル · チューニング：0.1 MHz 毎）
出力方式：ステレオ／モノラル（切替可能）

電源 DC 12 V（DC IN 端子）/ DC 7.2 V（バッテリー端子）

消費電力（付属の専用 AC アダプター使用時）
12W（本体 10W）
電源「スタンバイ」時：約 0.3 W／充電時：12 W

内蔵バッテリーパック VUADBLS50（リチウムイオン）
電圧：7.2 V　容量：2150 mAh

外形寸法 (幅×奥行×高さ) (突起物を含まず)
235.4 mm × 179.2 mm × 46.0※ mm
※24.3 mm（最薄部）
(奥行：179.2 mm、高さ：46.6 mm　バッテリー装着時)

質量 約 1017 g

許容周囲温度 ＋5 ～ 35 ℃
許容相対湿度 5 ～ 85 % RH（結露なきこと）

AC アダプター
電源：100 V ～ 240 V、50/60 Hz
消費電力：41 ～ 55 VA
DC 出力：12 V、1.5 A

カー DC アダプター
DC 出力：12 V、2 A
12V 車専用

※1 Exif Ver2.1 JPEG ベースライン方式準拠
画像解像度：160×120 ～ 6144×4096
（サブサンプリング：4:0:0、4:2:0、4:2:2、4:4:4）
※2 MP3/WMA/JPEG を合わせた再生可能な最大コンテンツと最大グループの合計
再生可能な最大コンテンツ数（トラック数と画像数）：4000
再生可能な最大グループ数：400
※3 IEC62107 準拠
※4 極端に細長い画像は表示されない場合があります。
※5 MPEG-1 Layer3、MPEG-2 Layer3
※6 Windows Media Audio Ver 9.0 L3. Multiple Bit Rate(MBR) との互換性はありません。

充電式リチウムイオン電池について

使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

使用済み電池の届け先：
● お買い上げの販売店、または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ
● もしくは、(社) 電池工業会へご確認ください。
（ホームページ：http://www.baj.or.jp）

充電式リチウムイオン電池使用

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた、お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

補修用性能部品の保有期間

当社は､このポータブル DVD ／ CD プレーヤーの補修用性能部品を､製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

30 ～ 32 ページの「故障かな！？」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  右記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	ポータブルDVD ／ CDプレーヤー	品番	DVD-LS91
お買い上げ日	年　月　日		
故障の状況	できるだけ具体的に		

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  - 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  - 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  - 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

使いかた･お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは　365日）

■ 携帯電話･PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話･PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

- **札幌** 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251
- **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011
- **帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477
- **函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

- **青森** 青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326
- **秋田** 秋田市東通り2丁目1-7 ☎(050)5519-6348
- **岩手** 盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130
- **宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
- **山形** 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
- **福島** 郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区

- **栃木** 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555
- **群馬** 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075
- **茨城** つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756
- **埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
- **千葉** 千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034
- **東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
- **山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
- **神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
- **新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

- **石川** 金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608
- **富山** 富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549
- **福井** 福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)25-5001
- **長野** 松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209
- **静岡** 静岡市駿河区有東2丁目3-22 ☎(054)287-9000
- **愛知** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
- **岐阜** 岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
- **高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
- **三重** 久居市野村町字山神421 ☎(059)255-1380

近畿地区

- **滋賀** 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎(077)582-5021
- **京都** 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636
- **大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
- **奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
- **和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
- **兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

- **鳥取** 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
- **米子** 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
- **松江** 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128
- **出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
- **浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
- **岡山** 岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236
- **広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
- **山口** 山口県吉敷郡小郡町下郷220-1 ☎(083)973-2720

四国地区

- **香川** 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388
- **徳島** 徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253
- **高知** 高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
- **愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544

九州地区

- **福岡** 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
- **佐賀** 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151
- **長崎** 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
- **大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
- **宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
- **熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
- **天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
- **鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
- **大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

- **沖縄** 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
1005

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。